

COLUMN

お正月の香り文化—日本人と「清め」の香りの歴史

新しい年の始まりであるお正月は、日本人にとって心身を整え、穢れを祓い、清らかな状態で一年を迎える大切な節目です。その背景には、古くから受け継がれてきた「香りによる清め」の文化が深く根付いています。私たちは無意識のうちに、香りを通して新年の空気を感じ取ってきました。

代表的なのが「お香」です。

日本における香の文化は仏教伝来とともに広がり、平安時代には貴族の間で香を焚きしめ、心身を整える習慣が生まれました。香は単なる嗜好品ではなく、場を清め、心を鎮め、目に見えない世界とつながるための媒介でした。お正月に焚かれる香も、空間を整え、新たな年を迎える準備としての意味を持っていたのです。

門松に使われる松の存在も欠かせません。

松は一年中緑を保つことから、生命力や永遠性の象徴とされてきました。そのウッディで清々しい香りは、神様を迎える依代として空間を清める役割を担っています。松の香りには心を落ち着かせ、呼吸を深める作用があり、自然と背筋が伸びるような感覚をもたらします。

これらの香り文化に共通しているのは、「良い香りを楽しむ」以上に、「心と場を整える」という考え方です。

現代の私たちも、年始の慌ただしさや環境の変化によって知らず知らずのうちに緊張を抱えています。

そんなとき、香りは言葉を使わずに心身へ働きかけ、穏やかなリセットを促してくれます。

香りを取り入れることは、古来の知恵を現代に生かすことでもあります。

香りを通して、一年の始まりに深呼吸する時間を持つこと。それは、自分自身を清め、新しい一年を健やかに迎えるための、ささやかで確かな習慣なのかもしれません。香りとともに、心新たな一年をお過ごしください。

NEW TOPIC and ST Tokyo 店舗にて、年末年始のイベント噴霧

and ST(アンドエスティ)のフラッグシップストア、and ST Tokyo 店舗にて、年末年始限定の香りイベント噴霧を実施いたしました。

店内に設けられたPOPアップの世界観に合わせ、4つの異なるテーマイメージを設定。

年末年始の気分をテーマにしたオリジナルアロマブレンドを天然精油で制作しました。

■ Sweet Escare (おいしいものをたべよう)

バニラをほんのりアクセントに、甘さと爽やかさが共存する香り。

■ Cozy Nest (おうちでリラックス)

年末年始の「おこもり時間」をやさしく包み込む、穏やかなブレンド。

■ Sparkl Hour (パーティーで華やかにカウントダウン)

ジャスミンの奥行きを加えた、高揚感のあるパーティームードを演出する香り。

■ LUXE PAUSE (ラグジュアリーホテルステイ)

ウッディで重厚感のあるシダー、オークモスに、甘さを加え、上質で洗練された空間を表現。



さらに、Googleマップに口コミをしてくださった方へ、10mlのアロマミストをプレゼント。店内で体験した香りの記憶を、ご自宅でも楽しんでいただける仕掛けとなっています。

サンクサンスは今年も、店舗・イベント・商業空間における香り演出を通じて、ブランドの世界観を五感で体感できる空間づくりをサポートしてまいります。



サンクサンス株式会社

ノベルティサイト(軽井沢蒸留香房)

HPに会報誌のバックナンバーも掲載しています